



だより



R6.4.9 Vol.1

## 初めまして…

今年度より西予市立石城小学校から真穴小学校に転任してまいりました校長の山本雅人です。八幡浜市松柏から通っています。

生まれも育ちも、八幡浜ではありますが、真穴小学校での勤務は初めてです。ご迷惑おかけすることのないよう精一杯頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

学校から一望できる宇和海の雄大さに圧倒されると同時に癒されてもいます。春の海の穏やかさ、夏の海の爽やかさ、秋の海の豊饒さ、冬の海の荒々しさ、いろんな表情を見せてくれるんだろうなと今から楽しみにしています。

豊かな海、真穴みかんの山に囲まれたこの地に赴任できたこと、幸せに思っています。子供たちとともに充実した日々をしていきたいです。

## —マスク着脱の考え方—

コロナ禍が明けて約1年が経ちました。学校行事や地域行事も元の賑わいを取り戻しているのではないのでしょうか。コロナ禍の3年でマスクを着用する生活スタイルもすっかり定着しましたね。本校に着任して職員の様子を見ているとマスク着用の者が多かったです。職員には、健康上、特に支障がないときはマスクを取って指導に当たってほしいと伝えました。幼児期から児童期の子供たちの脳は、お互いの表情を見ることで成長していきます。私たち現場の人間が肌で感じていることですし、書籍をいくつか当たっても同じような説明がなされています。感染防止を常に意識しながら、お互いの顔が見える毎日を目指していきたいです。子供たちが将来、自分にとってのマスクの必要性を客観的に考えられるようになるまでは、私達大人がしっかり判断、アドバイスしてやるのが肝要かと思います。(児童のマスク着脱を強制するものではありません。保護者の判断にお任せします。)

## 四方山話真穴 ver. 其の一(校長として…)

昨日の始業式。朝の元気な挨拶とともに登校してくる真穴っ子を見て、とてもうれしくなりました。挨拶は人間関係構築の基本だと思います。これからも励行させたいです。式辞では、子供たちに、いろいろなことにチャレンジして欲しいという話をしました。チャレンジという小さなドアを開け続けて欲しいと。(詳細は校報に…)

とは言っても、昨今の飽食の時代。何を頑張らなくても生きていくことには困らないのかもしれませんが、頑張らない生き方が豊かな人生につながると私は考えません。一生懸命であることを大切にしたいです。その結果、うまくいけば達成感を味わうこともできるでしょう。うまくいかない時もあるかもしれないし、挫折感でいっぱいになるかもしれません。でも、その一つ一つの経験が子供たちのたくましさにつながり、これからの時代を生き抜く力を育んでくれると思うのです。

まだ真穴の子供たちと出会って2日目ですから具体的なことは言えませんが、一生懸命の先にある様々な感情を子供たちに味わって欲しいと願っています。

教師生活も、35年目を迎えました。教え子も大人になり、その子供たちがまた教え子になるという年齢にいつの間にか、なっています。(ある意味ショック笑)たくさんの教え子と出会って、その子供たちの成長を見てきて思うことです。

「一生懸命は裏切らない」

今年一年どうぞよろしくお願いいたします！

